

令和4年9月30日

養父市議会議長 西田 雄一様

予算特別委員会

委員長 藤原 芳巳

予算特別委員会審査報告書

令和4年9月5日、本委員会に付託された事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、養父市議会会議規則第101条の規定により報告します。

記

1 審査年月日

令和4年9月7日（水）

2 審査結果

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第60号	令和4年度養父市一般会計補正予算（第3号）	原案可決すべきもの
議案第61号	令和4年度養父市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決すべきもの
議案第62号	令和4年度養父市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決すべきもの

（別紙）審査内容等報告書

(別紙)

予算特別委員会 審査内容等報告書

議案第 60 号 令和 4 年度養父市一般会計補正予算 (第 3 号)

【質疑】 個人番号カード活用促進事業は、市独自の取組によりさらなる交付率の向上を目指しているが、個人情報漏えいの心配などの理由で申請に消極的な人もいる。マイナンバーカード取得後のメリットを広報して、市民の理解を深めるべきではないか。

【答弁】 市としては、本年度、図書貸出カードとの一体化を図るほか、マイナンバーカードを活用してオンライン申請できる手続きを増やしていきたいと考えている。また、国では、運転免許証との一体化が進められている。今後、これらの取組や情報、安全性等も PRしながら交付率の向上に努めていきたい。

【質疑】 社会的処方推進事業は、リンクワーカーが準備され、さらにコミュニティナースを雇用し、本格的な取組が進められる。事業推進の上で、規模が大きくなれば仕事も増えるが、保険医療課だけで全てできるのか。

【答弁】 保険医療課を中心としながら、健康福祉部の横連携を強化して進める。当初は主に高齢者を対象とした事業として捉えていたが、ヤングケアラー、引きこもり、生活困窮者等に対象が広がると、この推進体制では足りないことも考えられる。今後は健康福祉部だけでなく、市民に接する部局も社会的処方の概念を持ち、一体的に動いていけるように考えている。